

文化課関係

1 文化芸術振興事業

(1) 文化芸術事業

事業名	期間	内容	参加・入場者等
第45回 鹿沼市民 文化祭	9.23 ～ 12.10	市民の自主的・創造的な芸術文化活動の支援と本市文化の向上を図ることを目的として、市民文化センターを主会場に開催。4部門・24事業を開催。開幕式には「幡大輔講演会」を開催した。	参加者 1,613人 入場者 5,875人
第52回 市民美術展	7.26 ～ 7.30	美術を志す人に向けた登竜門的な美術展で市民文化センターを会場に開催。	出品数 70点 入場者 425人
第51回 市民書初め展	1.10 ～ 1.14	市民書道愛好家の底辺拡大及び会派を越えた交流の場として、市民文化センターを会場に実施。	出品者 95人 来場者 287人
移動芸術教室	9.20	青少年に優れた公演を直接鑑賞する機会を提供し、芸術文化活動への機運を醸成するため、西中で移動音楽鑑賞教室を開催。 内容:～SWING!!～ブラックボトムブラスバンド演奏会	児童 410人 教職員等 47人 合計 457人
巡回公演事業	11.16 ・24	文化庁が選定した文化芸術団体が学校体育館等で公演を行う事業。石川小、みどりが丘小で実施。(文化庁による文化芸術関係事業の調整)	児童 599人 教職員等 55人 合計 654人
芸術家の派遣事業	6.12 ～ 10.2	個人又は少人数の芸術家による講和や実技披露、実技指導を行う事業。みどりが丘小で計3回実施。(文化庁による文化芸術関係事業の調整)	児童 199人
コミュニケーション能力向上事業	11.21 ～ 12.29	コミュニケーション能力の育成を図ることを目的に、対話や創作、表現に係る体験活動を通して課題解決に取り組むワークショップを楡木小で実施。(文化庁による文化芸術関係事業の調整)	児童 66人
伝統文化親子教室	11.2 ～ 1.31	子供たちが伝統文化等に関する活動を継続的に体験できる取組を支援する事業。囃子5団体が採択・実施。(文化庁による文化芸術関係事業の調整)	発表会 15回
子供たちの伝統文化の体験事業	7.30	子供たちに伝統文化等を体験できる機会を提供する事業。「囃子体験教室」開催。(文化庁による文化芸術関係事業の調整、事業主体は(公財)かぬま文化・スポーツ振興財団)	児童 25人 保護者 5人 合計 30人
市民文化芸術交流の日 「meet with KANUMA」	10.14 ～ 10.22	世代を超えた市民が新しい文化芸術をともに創るため、交流を深める日「meet with KANUMA」第5回記念イベントとして「みんなで描こう! 黒板アート」を実施。	参加者 354人

(2) 文化団体育成事業

事業名	内 容	金 額
団体運営補助事業	本市の中核的な文化団体である「鹿沼市文化協会」への運営補助を行うとともに、市内の文化活動団体が主催する文化事業への後援等の支援を行った。	550,000円
市民音楽活動支援事業	青少年の音楽活動の底辺拡大を図るため、「鹿沼ジュニアフィルハーモニーオーケストラ」への運営補助及びコンサート活動への後援を行った。	950,000円
	音楽を通して青少年の健全育成と豊かな情操を培うため、「さつきドリーマーズバトントワーリング」と「さつきドリーマーズマーチングバンド」の運営補助を行った。	1,900,000円

2 文化芸術施設管理・運営

(1) 市民文化センター

指定管理者に委託し、管理・運営を行った。

ア 委託先 公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団

イ 委託内容

- (ア) 施設等の維持管理に関すること。
- (イ) 施設の利用に関すること。
- (ウ) 使用料の収納に関すること。
- (エ) 文化振興事業の推進に関すること。

ウ 委託料

192,837,000円

※公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団の事業実績は、本書末尾に記載のとおり（体育文化施設利用状況、体育文化事業実施状況）。

エ 利用人数

単位／人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
入館者数	4,864	5,712	12,304	10,561	5,077	4,348	
区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	11,609	11,202	7,420	9,253	8,813	4,487	95,650

オ 施設改修工事

長寿命化を図るため、計画的修繕を実施した。

施工場所	内 容
大小ホール舞台機構 設備幕地更新	経年による布地等の劣化により落下の危険性があるホール袖幕、一文字幕を更新
文化センター大ホール 調光操作卓更新	大ホール調光操作卓（照度調整装置）の1つに不具合が生じたため、同装置を更新

(2) 千葉県三記念館

利用人数 317人

3 文化財保護事業

(1) 文化財保護審議会

ア 会議

名 称	月 日	会 場	内 容	出席者
文化財 保護審議会	5.10	市民文化センター中会議室	令和5年度文化財係の事業、部会活動について	12人
	3.21	市民文化センター中会議室	国有形文化財登録の報告、有形民俗文化財の指定に対する諮問について	12人

イ 調査・研修等

名 称	内 容	出席者
第1部会	饗茶庵花蓮店舗登録所見作成、掬翠園・石橋町鈴木家石蔵・磯山神社・宝蔵寺調査、磯山神社図面作成	延べ18人
第2部会	—	—
第3部会	麻作り現地調査	延べ8人
第4部会	喜久沢のツクバネガシ・中粕尾のグンバイトンボ調査、深津ザゼンソウ保全地区清掃、植物標本整理	延べ19人

(2) 文化財の指定と保護

ア 指定

名 称	員 数	種 別	所在地	所有者	指定日
饗茶庵花蓮店舗 (旧安生家住宅主屋)	1棟	国登録有形文化財 (建造物)	上材木町	個人	3.6

イ 保護事業

事業名	内 容	補助金額
指定文化財 保護事業	今宮神社祭の屋台行事に使用する屋台の収蔵施設を所有する3自治会に、その地代を補助した。	225,000円
	発光路の強飯式の後継者育成事業に対し、補助金を交付した。	193,000円
	奈佐原文楽の保存伝承事業に対し、補助金を交付した。	200,000円
	医王寺金堂茅葺屋根修理事業に対し、補助金を交付した。	2,390,000円
	奈佐原文楽用具収蔵庫修理事業に対し、補助金を交付した。	65,000円
	麻苧町屋台収蔵施設建設事業に対し、補助金を交付した。	133,000円
	上石川天棚収蔵庫屋根修理事業に対し、補助金を交付した。	262,000円

(3) 埋蔵文化財

内 容	月 日	説 明
市内遺跡 試掘確認調査	通 年	本調査の必要性の有無等を把握するため、太陽光発電設備設置に伴う茂呂松原南遺跡(茂呂)、福祉施設建築に伴う宝龍内遺跡(上殿)、土砂採取に伴う松の木遺跡(下石川)、寺田遺跡(深津)の4件の確認調査を実施した。
出土遺物整理	通 年	明神前遺跡(上殿町)、鹿沼城跡(今宮町)の発掘調査により出土した遺物を整理した。

(4) 郷土資料調査・保存・活用

内 容	月 日	説 明
郷土資料の収集と調査	通 年	17家(団体)の古文書等の収集・調査、歴史的公文書の選別・収集を実施した。
郷土資料の整理と保存・活用	通 年	資料の公開・活用を図るため、古文書等 548 点のデジタル化を実施した。
	通 年	栗野コミュニティセンター内の自然史資料室において、昆虫標本・植物標本資料の整理・分類作業を実施した。
	通 年	郷土愛学習推進のため、小中学校等での出前講座を 26 校で実施し、授業支援を推進した。
刊行物の販売	通 年	文化課・図書館等で、『鹿沼市史』関連書籍 142 冊(230,300 円)、文化財関連書籍 19 冊(27,500 円)を販売した。

4 鹿沼まるごと博物館と展示施設管理

(1) 施設管理・運営

施設名	内 容	入館者数
文化活動交流館 郷土資料展示室	彫刻屋台、名誉市民・郷土の人々、歴史年表、遺跡と出土遺物、生活に関する民俗資料等を展示。郷土資料展示室管理運営協議会に案内と施設管理を委託し、地域文化の保護および活用に努めた。	6,357 人
仲町屋台公園 屋台展示収蔵庫	彫刻屋台を展示。仲町屋台維持管理協議会に委託し、展示収蔵庫の維持管理を行った。	8,023 人
栗野歴史民俗資料館	横根高原の自然と特産品である野州麻をテーマに展示を実施し、旧栗野町域の特色と歴史を紹介した。	3,008 人
木のふるさと 伝統工芸館	彫刻屋台、伝統工芸品を展示。石橋町自治会に管理を委託し、展示案内、組子づくり体験を実施し、木のまちかぬまのイメージアップを図った。	8,005 人

(2) 鹿沼まるごと博物館

鹿沼まるごと博物館は、市全域を博物館として捉え、従来の博物館資料はもちろん、美しい自然や文化財など建物に収まらない地域資源にも目を向ける総合的な博物館で、平成27年度に策定した「鹿沼まるごと博物館基本計画」に基づき、事業を実施した。

各種事業

内 容	月 日	説 明
第 28 回自然はともだち展「ゆたかな自然の生きものたち in 鹿沼」	7.23～ 8.6	文化活動交流館で、昆虫標本等を活用した展示を行った。入場者数 671 人。関連イベントとして「水の中の生きもの観察会」「昆虫標本づくり」「星空観察会」を開催し、合計 84 人が参加した。
第 9 回企画展「鹿沼城」	2.4～25	かぬまケーブルテレビホールで、鹿沼城に関する発掘資料や絵図等の展示を行った。入場者数 2,931 人。企画展のキックオフイベントとして「鹿沼城フェスタ」を開催し 2,108 人が参加した。また関連イベントとして「記念講演会」「鹿沼城さんぽ」「ギャラリートーク」を開催し 503 人が参加した。
市民学芸員養成講座	通 年	地域において主体的に博物館活動を行う人材を養成するため市民学芸員の養成講座を実施し、28 名を市民学芸員に認定した。
古文書調査会	通 年	市民学芸員と連携した調査活動として油田町小薬家文書の整理を実施し、延べ 140 人が参加した。
鹿沼の古文書を読む会	通 年	市民学芸員の古文書解読能力の向上を図るため計 4 回の講座を実施し、延べ 57 人が参加した。